



多治見市立北陵中学校
 多治見市旭ヶ丘10-6
 TEL 0572-27-6068
<http://school.city.tajimi.gifu.lg/~hokryo/>

2015年を振り返る

4月から9ヶ月が過ぎようとしています。早いもので、2015年も残すところ後わずかとなってしまいました。皆さんにとっては、どんな9ヶ月だったでしょうか。4月の出会いから、それぞれの学級が目標を目指して船出しました。最初は、うまくいかなかったかかわりも次第にエネルギーを生み出すかかわりのできる集団に変わってきました。体育祭では、全ての学級が応援団旗のもとで一つになり、「これが北陵中学校の体育祭だ」という姿をつくりだしました。合唱祭では、それまでに創りあげてきた学級の絆を更に深め、合唱曲を完成させるという取り組みが行われました。北陵中学校は、こうした創る活動の中で、学級や学年そして全校の凝集力を高め、けっして一人では味わうことのできない感動や達成感を味わうことができる場になっていました。生徒会執行部をはじめ、委員長、各学年・学級のリーダーが強い志をもって取り組み、それに応えようと、フォロワーが力を発揮しました。「開花」をスローガンとして、「当たり前前」のことが「当たり前」にできる北陵中生を目指した生徒会の取り組みは、日常生活にも大きな変化を創りつつあります。課題となっていた掃除や挨拶、給食の姿など、リーダーが率先してこだわる姿や、良さを認め合う姿を通して、スローガンに迫る取り組みができてきました。地域では、チームボランティア北陵が活躍しました。ボランティア活動を通して、北陵中生の良さが地域にも伝わり、頼りにされるチームボランティアの活動が根付いてきました。「行事が終わるとまたもとの姿に戻ってしまう。」「キャンペーン中だけは、取り組むが・・・。」という課題は、日常生活で当たり前前になるようになって、行事の後やキャンペーンの後にも心配された姿が少なくなってきました。2015年に創りあげてきたものは、行事やキャンペーンがなくても日常生活に姿を変えて引き継がれています。2016年の新たな挑戦に繋がる力が一人一人の中に蓄えられたことを実感しています。



【北陵中学校長 安藤 泰敏】

これも、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様の温かいご支援・ご協力があった賜です。来年の更なる挑戦に、引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。

良いお年をお迎えください。

北陵中生 活躍の記録

おめでとうございます。

- | | | | |
|--------------------------------------|-----------|-------|--------|
| ◆ 9 / 7 「多治見市読書感想文コンクール」 | 優秀賞 | 3年 | 伊東 紅葉 |
| | 優良賞 | 2年 | 雪竹 遼馬 |
| | 優良賞 | 1年 | 来田 瑠梨 |
| | 第3位 | 1年 | 中村 駆 |
| ◆ 10 / 10 「東濃中学生ソフトテニスシングルス新人大会」 | 第2位 | | |
| 10 / 12 「市内中学生バスケットボール大会」男子の部 | 第2位 | | |
| 「 」女子の部 | 第3位 | | |
| ◆ 10 / 17 「第47回多治見市ジュニアバレーボール大会」 | | | |
| ◆ 10 / 25 「第42回多治見市陸上リレーカーニバル大会」 | | | |
| 中学男子共通3000m | 第2位 | 2年 | 加藤 兄野 |
| 中学男子共通4×100mR | 第3位 | | |
| (加藤兄野・松尾勇飛・宮本優哉・松尾快音) | | | |
| ◆ 11 / 3 「第43回岐阜県中学生ソフトテニス新人大会」 | 第3位 | 1年 | 可知 麟太郎 |
| 男子1年生の部 | | 1年 | 中村 駆 |
| ◆ 11 / 3 「岐阜県サッカー新人大会東濃地区予選」 | 準優勝 | | |
| ◆ 12 / 3 「家族の約束十二カ条三行詩コンクール」 | 入選 | 1年 | 西尾 樹乃 |
| | 入選 | 3年 | 鈴木 聖来 |
| | 入選 | 3年 | 石田 しほ |
| | 入選 | 1年 | 長谷川 寧音 |
| ◆ 12 / 4 「平成27年度中学生人権標語コンテスト」 | 岐阜県教育委員会賞 | | |
| ◆ 12 / 13 「JA共済小・中学生書道コンクール」条幅の部 | 入選 | 3年 | 吉野 舞 |
| 「 」半紙の部 | | | |
| ◆ 12 / 23 「第48回岐阜県アンサンブルコンテスト東濃地区大会」 | 金賞 | 金管八重奏 | |
| | 銅賞 | 木管八重奏 | |

※金賞の金管八重奏は1 / 24の県大会(土岐文化プラザ)に出場します。

『志・かかわり・感動』 北陵中合唱祭

スローガン『完全燃唱(かんぜんねんしょう)』のもと、12月4日に北陵中合唱祭が行われました。どの学級でも取組中に様々な問題が生まれ、それを一つ一つ本気になって克服しながら本番を迎えました。学級全員で最高の合唱をしたいという「志」をもって、仲間との「かかわり」を大切に取り組んできました。合唱祭には、約200名の保護者の方々や福祉施設入所者の方々、学校評議員さんなど地域の方々に来校していただき、生徒たちの合唱を聴いていただきました。「合唱＝北陵中の伝統」であることを、全校生徒・先生・来ていただいた方々が実感できた「感動」的な合唱祭になりました。



【最優秀賞の1年1組 2年4組 3年4組の合唱の様子 (左から順)】

【保護者の方々の感想(一部紹介)】

- 全学年が精一杯合唱に取り組んでいる姿に感激しました。クラス発表の間も私語することもなく、スムーズに移動ができていました。さすが、中学生だなと思いました。(1年生保護者)
- 生徒の皆さん、それを支えてくださった先生方、お疲れ様でした。1年生のクラス別4曲しか聴けませんでした、各クラスの個性が出ていて良かったと思いました。(1年生保護者)
- 久しぶりに合唱を聴きました。1年生はクラスの人数も少ないですが、とても一生懸命歌っている姿がステキでした。女子も少ないですが一人一人本当にしっかり声を出しているのがわかりました。この日までに頑張ってきたのが出て良かったです。私も昔歌った曲が何曲かありとても懐かしく、強弱をつける所など中学時代を思い出しながら聞いていました。とても感動し、体がジーンとしてきました。(1年生保護者)
- 学年を追うごとに変化する男声に成長と感動を覚えます。そんな中での全体合唱・学年合唱は本当に感動します。心が震えます。「北陵中合唱祭」素晴らしいです。(2年生保護者)
- 北陵中の伝統ある合唱祭、毎年楽しみに来ています。これからもみんなで取り組める合唱祭でみんなが成長していく姿を期待しています。(2年生保護者)
- 曲と向き合い、自分たちの合唱を創り上げたのだなと思える合唱祭でした。心に響く素敵な合唱をありがとうございました。(3年生保護者)
- 中学最後の合唱祭。毎年どのクラスもレベルが高くてびっくりしています。全員がこの日のために一つとなって合唱に取り組んできたのがよく分かりました。毎年感動をありがとうございました。(3年生保護者)

親育ち子育ちコーナー

子どもが「自分で決めて行える」こと

多治見市教育委員会

今後子どもに、特につけていく必要がある力として「めあてを持って自分から動くことができる力」がある。子どもは、いずれは社会人・地域人として活躍することとなる。その時に、自分で困難を乗り越えたり、人と助け合って取り組んだりする力が求められる。

それらの力の素地を育む場は、子どもの今の生活の中にも、あるのではないのでしょうか。朝自分で起きることに始まり、身の回りの整理整頓、掃除やお手伝いなど、子どもが家庭で今「自分で決めて行っている」ことは、どんなことがあるか考えてみてください。

年末・年始を良い機会として、子どもが今「自分で考えて行える」ことを家庭で一緒に話し合い、安全に気をつけながら、できることやできそうなことから始めさせてみましょう。そして、その行いを「自分でできたね。」「助かったよ。」と認めていきましょう。

今年も地域・保護者の皆様に大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。